

ハッ！ 広瀬 慶輔（ひろせ けいすけ）です No.81

9月24日、秋篠宮妃紀子さまが本市に来訪されました。その際、私から市の健康増進の施策や、シルバー世代が運動や食生活により、力を維持・向上させる取り組み「ねやちょ筋プレミアム」などについて説明させていただきました。

10月31日、11月1日の2日間にわたって寝屋川市駅前で行われる「寝屋川文化芸術祭」には私もお邪魔する予定です。数多くの市民団体による展示・催しが楽しみですよね。私への“飛び入り参加の依頼”も大歓迎ですよ～。ぜひお声かけくださいね！

民間企業と共同開発！“次世代型 AI 電話”の記者会見！



1年以上をかけて民間企業と共同開発を行ってきた、「対話型AI電話相談システム」の記者会見に報道機関10社が来られました。相談内容が複雑であり行政の中で高度な知識やスキルが必要な、最も難しい分野である福祉相談の分野で、「寄り添い、共感しながらニーズを引き出し答えまで導く」ことができる、まさに「次世代型のAI電話」です。

同じシステムを用いて、市役所内に新たな仮想組織「聞きましょ課」を設置します。3人のAI職員が24時間365日話し相手になる高齢者向けの電話対話サービスです。

市は新たな時代の市民サービスを生み続けます!

子どもたちが私の名刺を集めたら“市長室”へご招待？



以前、イベントで子どもたちに名刺を渡す機会があり、その際「私の名刺を5枚集めたら市長室に招待するよ。一緒にお茶しよう!」と冗談っぽく話したことがあるのですが、最近それが口コミで広まっているようです（笑）

地域の秋まつりでの出来事なのですが、会場を見回ろうとするや否や、大勢の子どもに取り囲まれてしまいました。今やどのイベントでも子どもたちに名刺を求められてしまいます。口コミの力ってすごい…！

実際に5枚集めて市長室に来てくれた子どももいます。もし5枚集まったら…秘書課までご連絡くださいね!

暴力団事務所は寝屋川市内では認めません！



滋賀弁護士会が主催する暴力団対策イベントの一環として、市長時代、実際に指定暴力団事務所を排除した実績のある、元尼崎市長の稲村和美さんとの対談を行いました。

指定暴力団事務所の本部が本市に移転するニュースを見てご心配になった方もおられると思いますが、こうした事態を見込んで、市独自の暴力団排除条例を制定するなど、市が中心となって、地域住民の皆さん、警察などの協力のもと対応した結果、大阪地方裁判所から暴力団事務所の使用差し止めを命じる仮処分決定が出ており、市内で機能している指定暴力団事務所は、実質“ゼロ”になっています。

今後も、油断することなく暴力団事務所ゼロを実現していきます。